



## プレスリリース

令和6年度草の根・人間の安全保障無償資金協力：

### ディリジャン地方道路地滑り防止ネット整備計画 供与式の実施

エレバン：令和8年3月11日

---

令和8年3月11日、草の根・人間の安全保障無償資金協力「ディリジャン地方道路地滑り防止ネット整備計画」（供与限度額：68,943米ドル）の供与式が、ディリジャン市内の本事業実施地で開催されました。本式典には、青木豊駐アルメニア日本国大使、アレクセイ・チチョフ・フィオレットボ村長、エミン・イエリツェン・アルメニア・コミュニティ連合代表のほか、行政関係者が参加しました。

本事業は、ディリジャン地方道路（M8）の地滑り危険地帯において補強ジオグリッドとハイジュールネット（横 100m、縦 200m）を整備することにより、ナゴルノ・カラバフからの避難民 1,000 人を含む年間 26,000 人の道路利用者を土砂災害の脅威から守るものです。同道路では、風化した岩石と急勾配の斜面により地滑りや落石のリスクが非常に高く、少なくとも年 5 回の道路封鎖が生じていたほか、過去 3 年間で計 47 件の土砂災害関連事故が報告されており、うち 10 件が死亡事故、30 件が重傷事故となっていました。さらに、交通網の寸断は市の主要産業である観光業にも打撃を与えており、地域経済の発展と利用者の安全確保の両面から、対応が求められていました。

イエリツェン・コミュニティ連合代表は、「ディリジャン地方道路では長年にわたり土砂災害による深刻な事故が繰り返されてきました。日本政府のご支援によって、住民及びドライバーの皆さんが安心して道路を利用できる日が来たことを、地域の一員として大変嬉しく思うとともに、心より感謝申し上げます。」と述べました。また、青木大使は、「地滑りや落石といった自然災害から人々の命と生活を守ることは、持続可能な地域づくりの根幹です。本事業により、ディリジャン市における災害リスクが軽減され、住民の皆さまがより安心して暮らせる環境作りに貢献できたことを誇りに思います。」と祝辞を述べました。



供与されたハイジュールネット前での記念撮影  
(右からイエリツヤン・コミュニティ連合代表、  
チチョフ村長、青木大使、他行政関係者2名)



祝辞を述べる青木大使



謝辞を述べるイエリツヤン・コミュニティ連合代表



道路沿いに設置された補強ジオグリッド